

ビジネス
パスファインダー

データベースにおまかせ！

【第15回】
図書館データベース
TKCローライブラリー ①

100年の伝統と信頼を持つ法令データベース「Super法令Web」、法律出版社や新聞社とのリンク機能で利便性を上げ、毎週更新している「LEX/DBインターネット」、82万件超の文献情報、評釈所在情報を網羅的に収録した「法律文献総合INDEX」など、「判例」「法令」「文献情報」「法律雑誌」のコンテンツを幅広くあつめた総合法律データベースです。

★TKCローライブラリーでできること★

小牧市中央図書館 4階のデータベース席では、TKCローライブラリーの以下のコンテンツをご利用いただけます。			
判例・法令・文献情報等	内容	提供元	解説
LEX/DBインターネット	判例	株式会社TKC	明治8年の大審院判例から今日までに公表された判例を収録したフルテキスト型（判例全文情報）データベースです。民事法、民事特別法、公法、社会経済法、刑事法のすべての法律分野を収録しています。
公的判例集データベース	判例	株式会社TKC	「最高裁判所民事判例集」「最高裁判所刑事判例集」等の公的判例集全24誌のデータベースです。判例の原典をPDFで閲覧できます。
Super 法令Web	法令	ぎょうせい	法務省責任編集による法令集「現行日本法規」に基づいた法令データベースです。憲法・条約・法律・政令・太政官布告・太政官達・皇室令・勅令・閣令・府省令・告示・規則等について、約18,000件超の法令を収録しています。（一部未施行を含む）
ロージャーナル「新・判例解説Watch」	雑誌	法曹会	注目の判例、重要な判例の解説を提供するロージャーナルです。大学・法科大学院教員を中心とする執筆体制により、解説をいち早く提供しています。
法律関連リンク集	HP集	株式会社TKC	国内・国外の法律に関するWebサイトのみを厳選し、体系付けしたリンク集です。
日経四紙からの選りすぐり情報	記事検索 企業情報	日本経済新聞社	速報ニュースと日経四紙（日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJ、日経金融新聞）の記事検索ができます。また上場企業をはじめ全国主要約22,000社の事業内容、役員、大株主や、労務状況、要約貸借対照表、要約損益計算書、監査意見、売上構成、本社所在地などの詳細データが閲覧できます。
法律文献総合INDEX	文献 判例	日本評論社 株式会社TKC	『法律時報』に掲載された文献情報や判例評釈情報と、株式会社TKCが独自に収集した法律関係の書籍、雑誌、報告書、新聞、その他の刊行物に掲載された文献情報、判例評釈情報を網羅的に収録しています。
最高裁判所判例解説Web	判例	法曹会	『最高裁判所判例解説』民事篇・刑事篇全143巻に加えて『法曹時報』の「最高裁判所判例解説」に掲載された最新の解説（発刊後3ヶ月経過後）を収録しています。
判例タイムズ	判例	判例タイムズ社	『判例タイムズ』本誌と臨時増刊号に掲載された論文・記事、判例評釈、判例紹介等を、創刊号から最新号まで、書誌情報（テキスト）と本文（PDF）の形式で収録しています。
主要民事判例解説	評論	判例タイムズ社	『主要民事判例解説』に掲載された判例評論を、創刊号から最新号まで、書誌情報（テキスト）と本文（PDF）の形式で収録しています。また1978年から1983年までの『民事主要判例解説』に掲載された判例評論も収録しています。
ビジネス法務	法務記事	中央経済社	企業法務に特化し、各種法改正・実務をわかりやすく解説した記事を掲載・収録しています。
判例地方自治Web版	判例	ぎょうせい	地方公共団体が当事者となっている行政・民事の裁判例（地方自治判例）を収録しています。重要判例には解説等を掲載し、連載講座や訴訟情報など実務記事も多数収録しています。

次回、ビジネスパスファインダーのデータベースにおまかせ！
「第16回TKCローライブラリー②」では使い方についてご紹介します。

座席の予約はこちらから⇒
※Web予約には、利用者カード番号とパスワードが必要です。

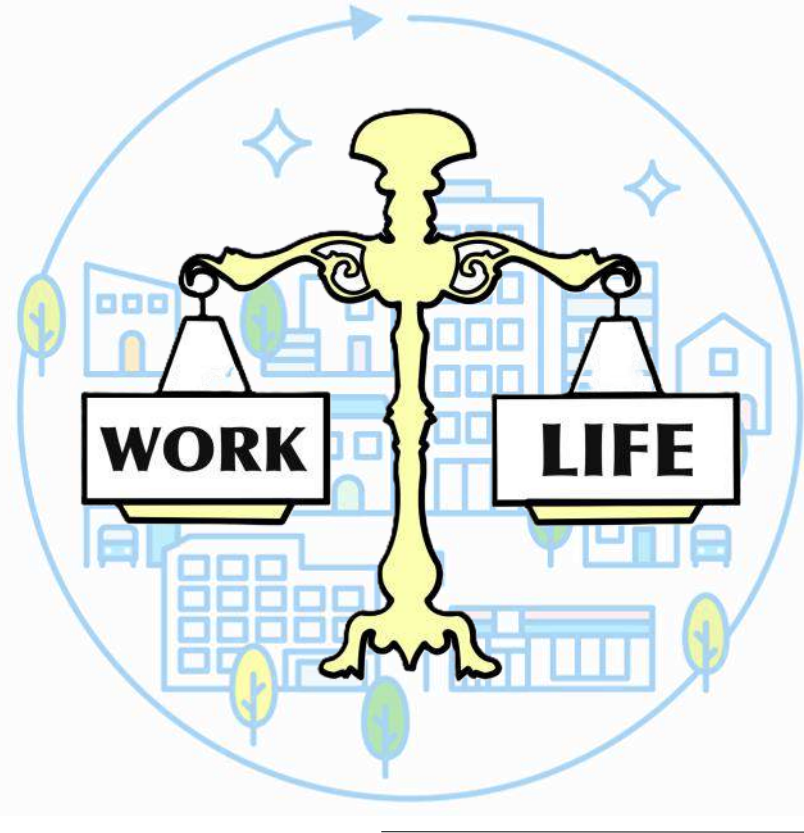
次回 68号は
8月1日発行予定です

■編集後記■
働き方が多様化してきた背景には、国や地方自治体による支援の広がりや官民一体となった取り組み、働き方に対する価値観の変化など様々な要素があることがわかりました。（T）

Business Topics

Vol. 67

仕事と暮らしの在り方



総務省によると令和5年度における移住に関する相談件数は、全体で408,435件。前年度から38,103件（前年度比約110%）増加しており、関心の高さがうかがえます。

また近年では、デュアルライフ(二拠点生活)という都心と地方都市との両方で生活拠点を持つ人や、転職等で地方を選んで移住するなど、働き方、暮らし方の選択肢が広がっています。今号では、多様化する現代の仕事と暮らしの在り方について特集します。

■ビジネス書 新刊PICK UP！

『会社と社会の読書会』
コクヨ野外学習センター／編
WORKSIGHT／編
畑中章宏 ほか／著
黒鳥社 2025.1 (335.04/コ)

社会という見えない枠組みの中にいる私たちは、当たり前のようにその中で生きています。9時から18時までの労働時間、週末の休息、住宅ローンを組むなど、一見個々人の選択結果のように見える今の生活は、会社という存在を中心にデザインされています。会社というものが自然に私たちの日常生活にあり、思考や行動を無意識に形づくっている中で、コロナ禍を経て、ここ数年会社に属さなくても社会とつながる働き方や生き方が急速に広がりとつあります。本著をきっかけに、社会とは何か、会社とは何かを今一度考えてみてはいかがでしょうか。

今号掲載本以外のおすすめ本も
紹介してます。
予約ができるブックリストは
こちらから⇒

■Contents■
【表紙】ビジネス書 新刊PICKUP！
・会社と社会の読書会

【見開き特集】仕事と暮らしの在り方
・どこでもオフィスの時代
・多拠点ライフ
・「よそもの」が日本を変える
・山里の生活実験
・武器としての土着思考
・30代から地元で暮らす幸せのUターン
・都会を出て田舎で0円生活ははじめました
・ワークライフ・インテグレーション
・数字とファクトから読み解く地方移住
・転職
・プロモーション
（掲載順）

【4面】ビジネスパスファインダー
データベースにおまかせ！＜第15回＞
「TKCローライブラリー ①」

2025年5月1日発行

編集・発行
小牧市中央図書館
0568-73-9951

特集 仕事と暮らしの在り方



どこでもオフィスの時代 人生の質が劇的に上がるワーケーション LIFE INITIATIVE

みつめる旅／著 日経BP日本新聞出版本部 2021.10 (336.4/ミ)

一般社団法人みつめる旅は、長崎県五島列島を舞台に「価値観を揺さぶられる人生の旅」を提供し、東京で本業をしながら働く4人が副業として設立した会社です。冒頭は「人生で重要な決定事項は3つ」「それはどこで、誰と、何をするか」という言葉から始まります。まずは魂が呼ばれるようなじっくりくる場所を見つけ、その場所で誰と何をするかを考えます。そして旅をするだけでは終わらず、旅先の地域と一体となって働き、一緒に成長していくことも、豊かさを求める一つの生き方であると感じました。



多拠点ライフ 分散する生き方

石山アンジュ／著 クロスメディア・パブリッシング 2023.8 (365/イ)

平日は都心に勤め、週末は田舎で過ごす。リゾート旅館の中にオフィスを構える。コロナ禍以降急速に広がったリモートワークや在宅向けサービスは、これまで一部の特権とされていた暮らし方を、実現可能な選択肢として身近なものにしてくれました。選択肢の広がりには生存戦略の一つだと著者は言います。これまで一極集中し、積み上げる成長をよしとしてきた価値観を、リスクと共存し、分散し繋がる価値観へと切り替えることで新しい幸せの形がきっと見つかる。そんな思いが書名『多拠点ライフ』に込められています。



「よそもの」が日本を変える 地域のものづくりにチャンスあり

鎌田由美子／著 日経BP 2021.3 (601.1/か)

地元の地元による地元のための企業…需要と供給のバランスが良ければ、地産地消ができる理想的な仕事のひとつだと思います。しかし、それが中々難しいのが現実です。本作は地方企業の新たな価値を生み出すヒントとして「よそもの」を取り上げ、著者の経験や取材をもとに外部と連携した様々な例を紹介。チャンスを掴むためにも、自身が「よそもの」となって一歩踏み出しても良いかもしれません。



山里の生活実験 サステナブルな暮らしを見つける

丸山啓史／著 かもがわ出版 2024.11 (611.98/り)

サステナブルな暮らしを目指し、著者は家族を連れて山里に移住します。冷蔵庫やテレビをなくし、田舎暮らしに欠かせない(と思われる)車を持たない生活が始まります。私たちには真似できない体験談として楽しく読み進めていくうちに、いつしか、今の自分にできることやこの生活を記録し発信する意味を真剣に考えていることに気づきます。著者は決して、自分に続けと強要しているのではなく、また、続かない読者を責めているのでもありません。でも、この本を読まなければ受け取れないものを確かに託されたと感じるのです。



武器としての土着思考 僕たちが「資本の原理」から逃れて「移住との格闘」に希望を見出した理由

青木真兵／著 東洋経済新報社 2024.7 (360.4/ア)

この本は知らぬ土地に移住して生きる事についての考え方を、著者が好きなプロレスでの戦いに一部なぞらえて書いて面白いです。戦いとは即ち、その環境で生きていくこと。“土着する”ということの意味合いは、ただ田舎の人になるということではなく、心の持ち様、考え方を著者独特の切り口で書いているので、そこは大変興味深いです。移住だけでなく、環境が変わる時にもこの本が参考になるかもしれません。ご一読ください。



30代から地元で暮らす幸せのUターン転職

江口勝彦／著 幻冬舎メディアコンサルティング 2022.2 (366.29/イ)

地元へUターンして生活するにはどうしたらよいだろう、と考えている人に読んでもらいたいのが今回ご紹介する本です。著者自身が地方特化型の転職支援サービスを立ち上げており、地方移住を考える人へのアドバイスが細かい章に分かれて具体的に書かれています。実際にUターンをした人の例も記載されており、人生設計の参考にもなるため、移住を決めた人のほか、地元に戻るか迷っている人にもおすすめの1冊です。



都会を出て田舎で0円生活ははじめました

田村余一／著 田村ゆに／著 サンクチュアリ出版 2022.8 (611.98/た)

青森の田舎で親子3人が電気、ガス、水道も契約せず、自給自足生活を実現しているお話です。自宅も廃材で建て、スマホ、パソコンもソーラーで稼働、社会インフラも普通に揃っての生活です。田舎への移住にあこがれる人々に向け、知恵と工夫でお金を掛けず、“生きている”実感を強く感じて、充実した生活が送れることをこの本では紹介しています。実際全部真似はできないかもしれませんが、移住に対する考え方に何か気が付きがあるかもしれません。

今号掲載本の予約ができる
おすすめブックリストページ
はこちらから⇒



理解を深めるもう1冊



ワークライフ・インテグレーション

未来を拓く働き方

平澤克彦／編著

中村艶子／編著

ミネルヴァ書房 2021.9

「ワークライフ・インテグレーション」とは、仕事と生活を対立的にとらえるのではなく統合し調和させて、働き方における問題を解決していこうという考え方です。日本でも会社内に保育所を設け、支援制度や働き方の改革が行われるなど「ワーク・ライフ・バランス」が重視されるようになってきました。しかしこの先どのように変化し、どのような課題にぶつかるのでしょうか。本書では「ワーク・ライフ・バランス」が直面する問題点を、国際比較や企業側からの視点で分析しています。豊かな生き方と働き方について考えるきっかけになる1冊



数字とファクトから読み解く地方移住プロモーション

Urban-Rural Migration Promotion

伊藤将人／著 学芸出版社

2024.12 (318.6/イ)

「IターンとUターンはどちらが多いのか」「金銭的な移住支援は本当に広く有効なのか」「今、本当に“地方移住ブーム”なのか」など、地域移住に関するキーワードを軸に地域移住について考えてみませんか。事例紹介ではなく、具体的なデータをもとに移住者、地域、政治、未来にとって本当にWin-Winなのかを問い直しています。現在の移住事情や移住促進施策が前提としていることは、果たしてどこまでが現状に沿っていて、これから何が必要とされているのでしょうか。

ちょっと
ひといき♪

KOMAKI ベストリーダー

小牧市図書館で、過去3ヶ月間中

最も多く借りられたビジネス書ベスト1をご紹介します！

伝え方が9割 2

佐々木圭一／著 ダイアモンド社

入社前から先取り!日経新聞の読み方・活かし方 就活にもスタートダッシュにも火曜日からはじめて14日間で完全マスター
大石泉／著 すばる舎

絶対にミスをしない人の仕事のスゴ技BEST100

鈴木真理子／著 明日香出版社

転職面接 受かる人はここが違う!オンライン面接にも! 最新版
藤井佐和子／著 新星出版社

仕事の基本をひとつひとつわかりやすく。

ビジネスをひとつひとつシリーズ
松本昌子／監修 Gakken

今回は

1位が5冊!



・令和7年1月1日～令和7年3月31日集計

Web情報サイト

移住や就業に関する支援及び情報サイト

[小牧市ホームページ 地域活性化営業部商工振興課「移住支援事業について」](#)（ページID：45341）

<https://www.city.komaki.aichi.jp/>

小牧市移住支援事業費補助金や愛知県の移住支援事業関連リンクについて掲載しています。

[あいちUIJターン支援センター](#)

<https://www.uij-aichi.jp/>

愛知県へのUIJターンを希望する人や企業の人事担当者に向けて関連情報を発信しています。

[はじめての移住応援サイト「いいかも地方暮らし」](#)

<https://www.chisou.go.jp/iikamo/index.html>

内閣官房・内閣府が運営するこれから地方移住を考える人や始める人のためのサイトで、地方へ移住した人たちのインタビューやコラムなど、地方移住に役立つ情報が掲載されています。

[全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム](#)

https://www.mlit.go.jp/2chiiki_pf/

地方公共団体と関係団体・民間事業者からなる組織で、二地域居住等の推進に係る施策や事例の情報、課題の整理や対応策の検討、官民のマッチングなどを行っています。